

平成17年 1月17日

横浜市長 中田 宏様

横浜市環境影響評価審査会
会長 猪狩 庸祐

ジー・イーテクノス産業廃棄物処理施設設置事業環境影響評価方法書に関する調査審議について（答申）

平成16年11月22日環保環審第175号により諮問のありました標記について、当審査会は慎重に調査審議を重ねた結果、次のとおり結論を得たので答申します。

なお、本件に係る方法意見書の作成にあたっては、当審査会で指摘した事項について十分に配慮されるよう申し添えます。

1 全般的事項

(1) 対象事業の計画内容について

ア 対象事業の名称

ジー・イーテクノス産業廃棄物処理施設設置事業（以下「本事業」という。）

イ 事業者の名称

株式会社ジー・イーテクノス（以下「事業者」という。）

ウ 対象事業の目的

事業者は現在、本事業計画地において、工場跡地の調査や売買、都市開発等の際に発見された汚染土壌を受け入れ、これを選別処理することによりセメント原料等とする事業を行っており、今後、汚染土壌を洗浄して建設資材とするための施設の設置を計画している。本事業は、汚染土壌中に含まれる粗大粒や土壌汚染現場から排出される産業廃棄物をセメント原料として資源化するため、これらを破碎処理する産業廃棄物処理施設を設置しようとするものである。

エ 実施区域

神奈川区恵比須町8番地（以下「計画地」という。）

敷地面積：11,460m²（緑地、共用通路を含む）

建築面積：5,820m²

オ 対象事業の種類

廃棄物処理施設の建設（横浜市環境影響評価条例に規定する第1分類事業）

カ 事業の概要

(7) 主な施設

産業廃棄物及び土壌混入粗大粒の破碎施設(新設)

汚染土壌の洗浄施設(新設)

汚染土壌の選別施設(既設)

(1) 搬出入計画

搬入(片道最大): 車両202台/日

搬出(片道最大): 車両58台/日、船舶1.2隻/日

(2) 地域特性

計画地は、昭和電工株式会社横浜事業所内の敷地内に借地し、出入口は、工場の東側の道路を使用し、トラック等の出入りが行われている。

南側は横浜港に面している。都市計画法に定める用途地域は、工業専用地域となっている。周辺は、道路を挟んで工場、事業場が立地している。

事業の実施にあたっては、事業内容及び地域特性を考慮し、方法書に記載された事項に加え、次に示す事項に留意して環境影響評価を実施する必要がある。

2 個別的事項

(1) 事業計画

ア 洗浄施設の処理工程について、平易かつ詳細に準備書に記載すること。

イ 受入土壌の性状の把握方法を準備書に記載すること。

ウ 汚染土壌がセメント原料となる理由を準備書に記載すること。

(2) 環境影響評価項目

ア 存在・供用時

(7) 大気汚染

汚染土壌の運搬船の燃料は、良質なものを使用するとしているが、これを担保する措置を準備書に記載すること。

(1) 地域社会

a 交通混雑については、搬出入経路が幹線道路と平面交差する地点において予測評価を行うこと。

b 交通混雑に係る現況調査にあたっては、各交差点における渋滞の有無を確認し、渋滞があると把握した場合には、渋滞長の時間変動を観測し、その結果を踏まえた予測評価を行うこと。

(ウ) 景観

新たに建築する建物の高さは24.3mであり、周辺には市民等の一般的な眺望地点が存在しないことから環境影響評価項目に選定しないとしているが、その根拠を明確にし、準備書に記載すること。

横浜市環境影響評価条例に基づく手続経過

平成16年10月27日	事業者は方法書を提出
平成16年11月11日	事業者は方法書周知計画書を提出
平成16年11月15日	市長は方法書の提出を受けた旨市報公告し、方法書の写しの縦覧を開始（平成17年1月4日まで45日間） 縦覧場所：環境保全局、鶴見区、神奈川区 縦覧者数：7名 事業者は、方法書対象地域内に方法書の概要を周知（各戸配布） 市長は方法書に係る意見書の受付を開始（平成17年1月4日まで45日間） 意見書数：0件
平成16年11月22日	環境影響評価審査会 市長は方法書に係る調査審議について審査会に諮問 事業者説明（方法書）及び審議
平成16年12月6日	環境影響評価審査会 事務局説明（方法書周知計画書） 事業者説明（補足資料）及び審議
平成16年12月24日	環境影響評価審査会 事務局説明（検討事項一覧）及び審議
平成17年1月17日	環境影響評価審査会 事務局説明（答申案）及び審議

事業者が当審査会に提出した補足資料

- 1 船舶のA重油の使用について
- 2 分析結果の例
 - (1) 選別施設入荷検査例
 - (2) 洗浄施設分析例
- 3 洗浄施設での分級理由について
- 4 洗浄に使用する薬剤について
- 5 参考（方法書の修正等）
 - (1) 洗浄施設のフロー（方法書17、18ページの修正及び設備模式図）
 - (2) 特定有害物質の指定基準の単位（資料編107ページの表の修正）

横浜市環境影響評価審査会委員（五十音順 敬称略）

赤 羽 弘 和
猪 狩 庸 祐
今 井 五 郎
小 沢 弘 子
工 藤 信 之
猿 田 勝 美
田 丸 重 彦
田 村 美 幸
土 井 陸 雄
野 知 啓 子
広 谷 浩 子
藤 原 一 繪
横 山 長 之

会長

副会長